

(再評価)

## 一括審議案件資料

- (1) 一般国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅲ期)
- (2) 一般国道17号 上尾道路
- (3) 一般国道357号 東京湾岸道路  
(神奈川県区間)
- (4) 横浜地方合同庁舎
- (5) 国営昭和記念公園

令和2年12月18日

国土交通省 関東地方整備局

# 令和2(2020)年度 第5回 事業評価監視委員会 一括審議案件一覧

事業区分	事業名	再評価理由 ※1	事業採択	前回評価	全体事業費(億円)	完成予定年度 ※2	B/C ※4	前回評価からの主な変更点及び理由	再評価の視点	関係自治体の意見	前回評価時の付帯意見及び対応	対応方針(原案)
道路	1 一般国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅲ期)	①	H30	H29	380	R11	1.2 (1.5)	事業計画に大きな変更は生じていない。	本事業は、現道の渋滞緩和、交通事故の減少、圏央道へのアクセス向上の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。	(茨城県知事の意見) 一般国道牛久土浦バイパスⅢ期は、牛久市、つくば市内の交通渋滞の緩和、交通事故の減少とともに、首都圏中央連絡自動車道へのアクセス向上による物流機能の強化及び地域産業の発展に大きく寄与することなどから、本事業の必要性は高く、事業を継続することは妥当と考える。 なお、早期完成に向けて、事業を推進するとともに、徹底したコスト縮減を図るようお願いしたい。	なし	継続
	2 一般国道17号 上尾道路	⑤	H2	H28	1,211	R7	1.4 (1.4)	前回評価から事業費、事業期間に変更はあるが、事業全体に顕著な変化は生じていない。	本事業は、国道17号の混雑緩和、圏央道と連携したネットワークの形成の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。	(埼玉県知事の意見) 上尾道路は、首都圏と上越地方を結ぶ国土の大動脈である国道17号の一部であり、圏央道へのアクセス向上や国道17号現道の慢性的な渋滞緩和を図る上で非常に重要な道路です。 平成28年4月に上尾市から桶川市間が一部暫定区間を含むものの全線開通し、さいたま市方面から圏央道桶川北本ICへのアクセス性が向上しました。 引き続き、全線4車線化に向けて、江川地区の貴重な湿地環境の保全対策を実施しつつ、コスト縮減に十分留意し、早期完成に努めていただくようお願いいたします。  (さいたま市長の意見) 国道17号上尾道路につきましては、慢性化している国道17号現道周辺の交通混雑の緩和や沿道環境の改善に寄与し、また地域間の道路網を担い、都市の骨格をなす幹線道路として認識しているところです。 国道17号上尾道路の全線開通により、さいたま市から圏央道へのアクセスが向上され、より一層の経済発展に大きく貢献されるものと期待しております。 国道17号上尾道路については、さらなる渋滞の緩和と利便性の向上のため、全線4車線化に向けて引き続き整備継続頂けますようお願い申し上げます。	なし	継続

# (1) 一般国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅲ期)

## 1. 目的

・国道6号の渋滞緩和 ・圏央道へのアクセス強化 ・地域活性化の支援

## 2. 事業概要

事業区間：自) 茨城県牛久市城中町  
 至) 茨城県つくば市高崎

計画延長・幅員：5.5km・25.25m

車線数：4車線

計画交通量：21,100～26,400台/日

事業化：平成30年度

全体事業費：約380億円

## 3. 事業の進捗状況等

- ・平成30年度に新規事業化。
  - ・当該事業の用地進捗率は0% (R2.3末)。
  - ・道路設計により、事業に必要な幅員が明確となったことから令和2年10月に都市計画を変更。
- ※社会情勢等に大きな変化は見られない。

## 4. 事業の効果等

- ・交通の円滑化による、混雑緩和に期待。
- ・交通混雑の緩和による、交通事故の減少に期待。
- ・輸送の効率化による生産性の向上。

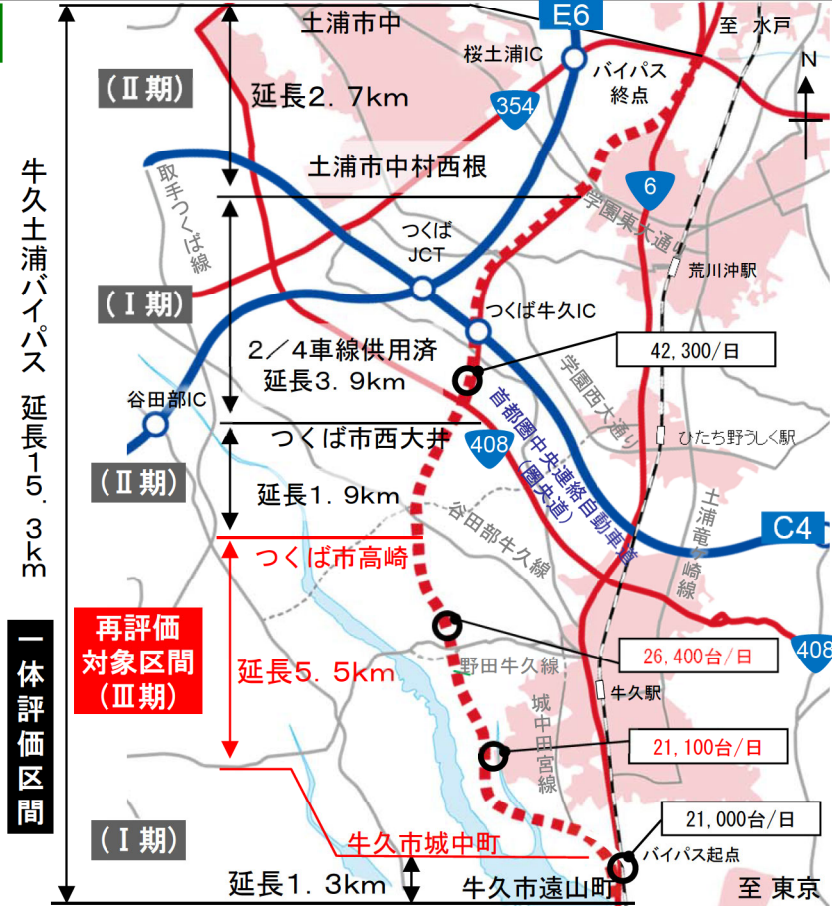
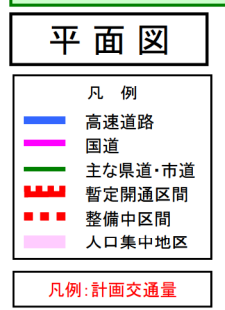
## 5. 事業の投資効率性

【事業全体】	【事業全体】		【残事業】	
	(前回)	(今回)	(今回)	(今回)
総便益 B:	—	B: 約1,278億円	B: 約1,098億円	B: 約1,098億円
	(約387億円)	(約448億円)	(約448億円)	(約448億円)
総費用 C:	—	C: 約1,046億円	C: 約462億円	C: 約462億円
	(約281億円)	(約303億円)	(約299億円)	(約299億円)
	B/C=—	B/C=1.2	B/C=2.4	B/C=2.4
	(1.4)	(1.5)	(1.5)	(1.5)

注) 上段の値は、一体評価区間の費用便益分析結果。 下段()書きの値は、牛久土浦バイパスⅢ期の費用便益分析結果。

【基準値(平成29年度)】 全体事業費: 約380億円

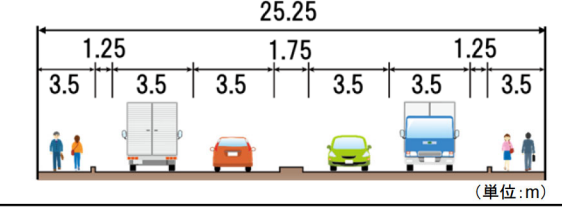
## 6. 概要図



## 位置図



## 標準横断面図



## 7. 対策方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・本事業は、現道の渋滞緩和、交通事故の減少、圏央道へのアクセス向上の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。